

国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事

図 面 リ ス ト			
番号	図面名	番号	図面名
1	特記仕様書・案内図	7	国府 改修後 照明姿図・金物姿図
2	電気設備工事特記仕様書	8	清見 仮設計画図
3	国府 仮設計画図	9	清見 改修前 照明配置図
4	国府 改修前 照明配置図	10	清見 改修前 照明姿図
5	国府 改修前 照明姿図	11	清見 改修後 照明配置図
6	国府 改修後 照明配置図	12	清見 改修後 照明姿図・金物姿図・加工平面図

※図面の縮尺はA2版サイズによるものとする。

工事概要			章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
工事名称			1	共通事項	⑩ 建設機械	1	共通事項	⑪ 材料等	2	仮設工事	① 足場				
場所															
国府B&G プール 岐阜県高山市国府町三日町荒田458 建築面積：141.81㎡ 延床面積：125.25㎡ 清見B&G プール 岐阜県高山市清見町三日町 254-1 建築面積：141.81㎡ 延床面積：125.25㎡															
工事項目											② 既存部分の養生				
・ 既存照明器具のLED化工事											○内部足場 種別 ○脚立足場				
1. 共通仕様					⑪ 施工計画書	次の工程に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。 (1.3.5)					○行わない				
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編)(令和7年度版)」による。(以下「改修標準仕様書」という。)															
なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気工事編)(令和7年度版)」(以下「標準仕様書」という。)による。															
また、改修標準仕様書中「請負者」とあるのは、「受注者」と読み替えるものとする。					⑫ 施工中の安全確保	(1)各法令に従い、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。 (2)気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。 (3)火気の使用、溶接・溶断作業等を行う場合は、火気の取扱いに十分注意するとともに、適切な消火設備、防火シート等を設けるなど、火災の防止措置を講ずる。 (4)保安上必要な施設等は、各法令、規定に基づき設置する。 (5)仮囲いは隙間がないよう設置し、第三者の進入がないようにする。 (6)毎日の作業開始前、終了後の現場内外の点検を行い、点検記録を作成する。 (手元機器、重機、仮設物全般の点検を行う)					・ 設ける ・ 構内既存建物の一部を使用する。 ・ 構内に新設する。 規模(m2程度) ・10 ・20 ※35 ・65 ・100				
(2) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。															
2. 特記仕様															
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。					⑬ 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの(安定器、蛍光灯)					○利用できない ・ 利用できる(※有償・無償)				
(2) 特記事項の中で選択する事項(・印の付いたものは、○印の付いたものを適用する。)															
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。															
(3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。											構内既存の施設 ○利用できない ・ 利用できる(※有償・無償)				
特記事項に記載の[] 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。															
(4) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事にあっては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)によって処理されたものとする。															
(5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。															
章	項目	特記事項													
1 共通事項	① 適用基準等	○建築物解体工事共通仕様書同解説 ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年度版) (1) この仕様書、図面及び現場説明書(現場説明に対する質疑回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(電気)(令和7年度版)〔以下「標仕」という〕 公共建築改修工事標準仕様書(電気)(令和7年度版)〔以下「改標仕」という〕による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。 (3) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は下記による。 (1) 質問回答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 標準特記仕様書(添付された場合に限り) (5) 図面 (6) 改標仕 (7) 標仕 (4) 図面間で相違がある場合は右記による。 意匠図、仕上げ表を優先			※再生資源 利用計画書 ※再生資源利用 促進計画書 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び 再生資源利用促進計画書を、また、工事完了後に同計画書の実施報告書を提出すること。(コア・プラ・プラにより作成) 特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき監督員に報告すること ※建設副産物の管理 建設副産物の管理については「高山市建設工事における建設副産物管理の運用について」を適用する。また、同運用による「建設副産物処理計画書」ならびに記載数量計算書を作成添付し提出すること廃棄物マニフェスト及び計量伝票を提示できるよう整備し提示すること有価物がある場合は、有価物の処理伝票と有価処理の総額等がわかる資料を整備し提示すること ・別表1 建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法 <table><tr><th>工程</th><th>作業内容</th><th>分別・解体の方法</th></tr><tr><td>○建築設備、内装材等</td><td>○有 ・ 無</td><td>○手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr></table>	工程	作業内容	分別・解体の方法	○建築設備、内装材等	○有 ・ 無	○手作業 ・ 手作業と機械作業の併用				
	工程	作業内容	分別・解体の方法												
	○建築設備、内装材等	○有 ・ 無	○手作業 ・ 手作業と機械作業の併用												
	② 工事実績情報の登録	請負代金額が500万円以上(消費税込み)の元請負人は、工事実績情報を(財)日本建設情報総合センターの工事実績情報システム(CORINS)に登録するものとする。 なお、登録内容を訂正する必要が生じた場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。			15 官公署その他への ○ 届出手続等										
	③ 産業廃棄物の適正処理	産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。			⑭ 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。									
	④ 下請施工業務	本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所を含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。			⑮ 施工調査	※施工計画調査 本工事該当部位及び関連部位について既存施設(配線配管等を含む)について事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督職員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付									
	⑤ 下請け業者等	下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。			⑯ 施工条件	・施工時間 ○下記による ※左記に○があるものは再度、監督員と協議する (1) 作業時間は、工事場所ごとに事前協議の上決定する。 (2) 取り外した蛍光管及び安定器は、全て高山市の指定する場所(庁舎内)へ保管すること (3) 作業工程に関しては、発注者と綿密な打ち合わせの上計画すること ・施工順序 (・指定なし ○打ち合わせによる ・) ・工事用車両の駐車場 (・指定なし ○打ち合わせによる ・) ・資機材置場 (・指定なし ○打ち合わせによる ・) ・当該施設は工事期間中も休業することができないため、安全管理に充分な配慮をすること									
	⑥ 実施状況の提出	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。			⑰ 施工中の環境保全等	(1) 各法令に従い、工事の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないように、周辺環境の保全に努める。									
	⑦ 工事着手前協議	1. 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。 2. 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。 なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。 3. 協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。 4. 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答(その他)欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人(主任技術者)が受け取ること。			⑱ 環境への配慮	[G]印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。原則としてグリーン購入法における特定調達品目の使用に努めること。 判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成22年2月閣議決定)」による。									
	⑧ 電子メールの利用	本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを有効に利用すること。運用にあたっては、「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。													
⑨ ディーゼルエンジン	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について (1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 (2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。														

1. 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。使用する建築材料が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(令和7年度版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書1. 4. 2. bの品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定されている製作図、試験成績書等は除く。									
(2) 室内に使用する合板、接着剤等は原則としてF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料等が無い場合は、F☆☆☆☆又はその同等品の揮発性有機化合物(VOC)の放出量の少ない材料とし、監督職員の承諾を受けること。									
総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。									
○ 適用する ・ 適用しない									
○ 適用する ・ 適用しない									
※「営繕工事電子納品要領」による									
撮影箇所数 ※() 箇所 ・ 航空写真() 箇所 ○監督職員の指示による 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。									
提出内容 ※電子データ 1部 図案：長辺で2880PIX以上 記録方式：RGB(フルカラー) ・ JPEG最高画質 記録媒体：CD-R(ISO) ○カラープリント A4版ファイルにて(1部)提出 アルバム(黒表紙金文字300mm×300mm程度) ※無し ・ 有り ・四つ切 () 枚 ※アルミ額縁 ・半切 () 枚 ※アルミ額縁 ・全紙 () 枚 ※アルミ額縁 [3.2.5]									
27 工事書類の簡素化									
28 施工の立会い等									
29 完成時の提出書類									
○完成図(施工図、施工計画書を除く) (1.8.1～3)(表1.8.1) ※新規に作成 ・ 既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 完成図CADデータ(CD-R)作成方法は「営繕工事電子納品要領(案)」による。 ○安全に関する資料 提出 ※1部 ・ ○施工図(※) 提出 ※原図及びその複写図 ・ ・施工計画書() 提出 ※1部 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に委譲するものとする。 製作図等で原図として提出が出来ないものは、原図に変わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。									
○ 監督員の指示による ※総合施工計画にて検査予定を定め、承認を得ること									
妨害又は不当要求に対する通報義務 1) 受注者は、契約の履行に当たって暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止をすることができる。 2) 受注者は、暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。									
現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。									
工事にあたり建設工事保険又は相当する保険に加入し、加入を証する書面の写しを工事着手後14日以内に提出すること。 加入期間は工事着手より、完成検査引渡しまでの契約工期+15日を満足すること。									
完成図、施工図製本 各2部(A2版) その他高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。									
当該工事が高山市重点監督対象工事になった場合は、その取扱いによるものとする。									
本工事は、完全休週2日を原則とした休週2日制工事(現場閉所)とする。 詳細は、「高山市発注の建設工事に係る休週2日制工事実施要領」に従うこと。									
1. 本工事はフレックス工期による契約方式の試行工事であり、受注者は契約日から工事開始期限日までの期間で、任意の日を工事開始日とすることができる。この場合、契約日から工事開始日の前日までの期間は、主任技術者又は監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐及び現場代理人を配置することを要しないものとする。 2. 受注者は、フレックス工期を活用する場合は次のとおり実施するものとする。 (1) 落札決定の通知後、契約締結日までの間で速やかに工事開始日通知するものとする。 (2) 積算にあたっては、契約日を起算日とした工期日数分を工事期間としており、受注者が施工期間を選択することにより生じる経費については、受注者の負担とする。 (3) 契約日から工事開始日の前日までの現場管理は、発注者の責任において行うこととし、発注者は資材の搬入や仮設物の設置等の行為をしてはならない。 (4) 受注時の「工事実績コリンズ登録」は、工事開始日後に監督員の確認を受け工事開始日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に登録機関に登録申請しなければならない。 なお、登録する技術者の従事期間は、実工期をもって登録するものとし、フレックス期間を含まないものとする。 (5)「現場代理人・技術員」は経歴書を添付して工事開始後、速やかに提出しなければならない。 (6) 契約締結後に工事開始日を変更する必要が生じた場合には、速やかに発注者及び受注者で協議のうえ、工事開始日通知書の変更を提出し、変更契約を締結すること。 (7) 低入札価格調査等により、入札執行通知又は入札公示に記載の工事開始期限日以降に契約締結となった場合には、契約締結日を工事の始期とし、工事の終期は工事開始期限日から工期日数を確保した日とする。									

至 古川									
至 高山									
該当地 国府B & G プール									
該当地 清見B & G プール									

工事名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事									
図名	特記仕様書・案内図									
縮尺	一	番号	12	枚の内	01	号				
設計年月日	令和8年7月									
設計	有限会社	野中建築設計事務所				一級建築士195187	野中隆平			

高山市

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
- 1、工事名称 国府B&G・清見B&GプールLED照明改修工事
- 2、工事場所 岐阜県高山市国府町三日町荒田458
建築面積：141.81㎡ 延床面積：125.25㎡
岐阜県高山市清見町三日町 254-1
建築面積：141.81㎡ 延床面積：125.25㎡
- 3、工事項目 (○印内に番号記入のものとび◎印のみ適用する。)

工事項目	建物名称	プール				
① 電灯設備						
● 照明設備		○				
● コンセント設備		○				
● 電気暖房設備						
● 誘導灯設備						
● 非常用照明設備						
● 室内機電源設備						

- 2 工事仕様
- 1、共通仕様 (◎印のみ適用する)
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て下記仕様による。
- 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年度版
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和7年度版
- 公共建築改修工事仕様書（電気設備工事編） 令和7年度版
- 但し、放送機器、通信機器、盤類、その他弱電機器等の仕様は、機材メーカー標準と読み替える。
- 内線規定、電気設備技術基準、所轄電力会社規定、建築基準法、消防法
その他関係法規に準拠する。

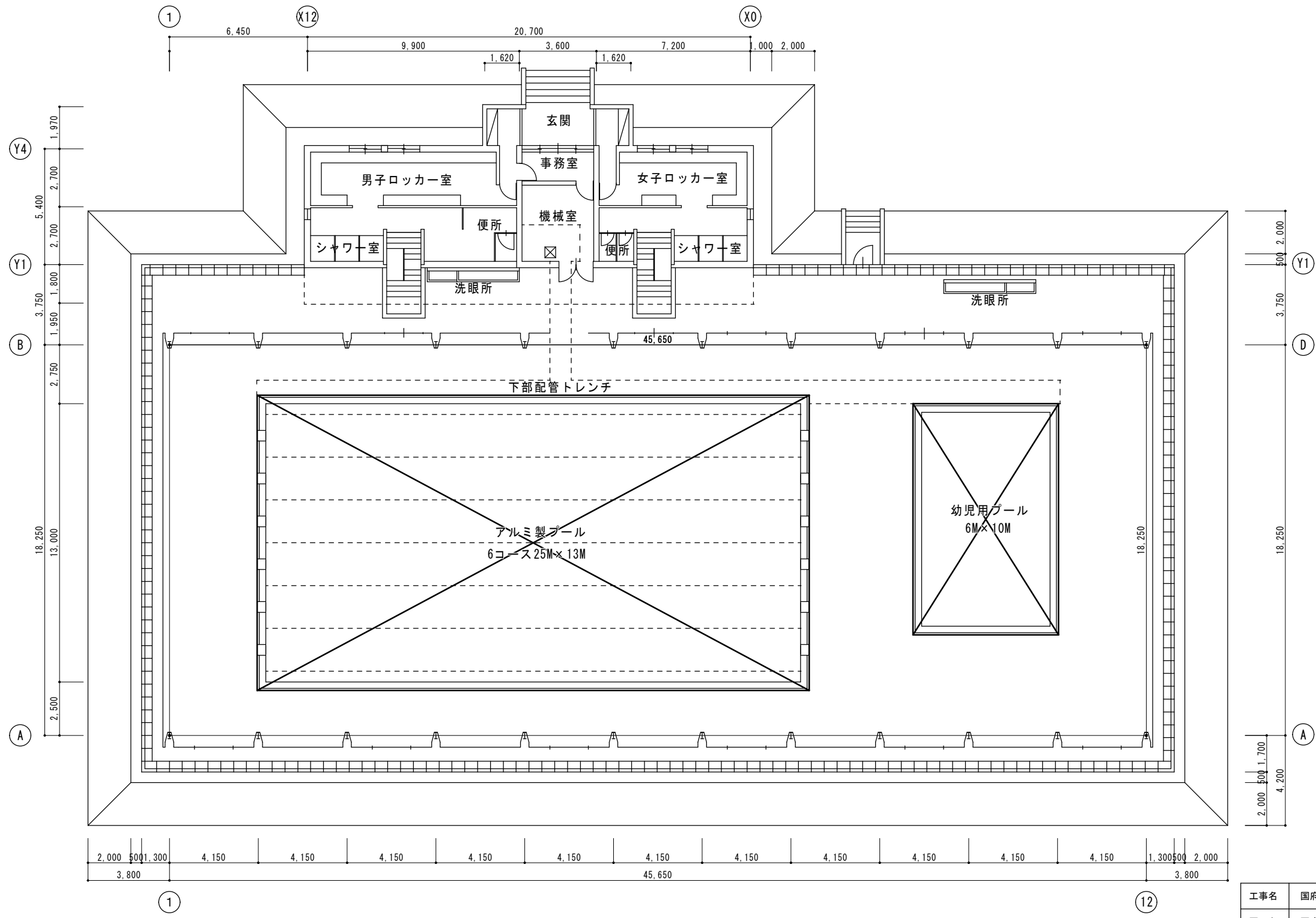
- 2、特記仕様
- この特記仕様は、下記の要領により適用する。
- (1) 項目並びにそれに関する特記事項は、番号に○印記入のものを適用する。
- (2) 特記事項の内、選択の必要があるものは◎印のみ適用する。

項 目	特 記 事 項
① 法令等の事項	この工事に関係ある法律、政令、省令、告示、条例、各地方公共団体の内線基準及び指針等はいくこれを遵守し、必要ある届け出、手続き等は、請負者が代行する。これに要する費用は、全て請負者が負担する。
② 変更工事	現場の納まり、取合上の位置、工法等の軽微な変更が生じた場合は、監督員の指示に従う。 この場合、請負金額は、増減しないことを原則とする。
③ 工事関係図書	本設計図書は、工事方針の概要を示すもので、工事請負者は施工前に充分な打合わせを行い、実施工程表、施工計画書、施工図、承認図を作成し、監督員の承諾を得た後、着工する。（設計図書に明示なき部分であっても、当然必要と認められる事項は、異議なくこれを施工する。）
④ 既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備との軽微な加工、改造等は、本工事とする。
⑤ 再利用機器	撤去した後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示による。
⑥ 機材	1）本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 2）主要材料については、契約後速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し主監督員の確認を受けて施工する。 3）設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げる程度、色合い等は、予め見本を提出して確認を受ける。
7 他工事との取合い	本工事と他工事との取合いは、別紙「工事区分表」による
⑧ 発生材の処理	発生材の処理は、特記仕様書（一般）による。
⑨ 提出書類	本工事に必要な提出書類は、特記仕様書（一般）による。
10 フラッシュプレート	プレートは、下記を標準とする。 ● 新金属製 ● 樹脂製（標準） ● ステンレス製
11 配線器具	配線器具は、下記を標準とする。 ● 大形運用型 ● ワイドハンドル型 ●
12 鋼製電線管	薄鋼電線管（19.25～.75）は、表示されているものと同一外径の寸なし電線管を使用してもよい。（露出部分は除く）
⑬ 火災保険等	本工事請負者は、火災保険、及び請負賠償責任保険等に加入し、証書の写しを監督員に提出する。 尚、加入金額は請負金額相当分とし、加入期間は工事開始日から竣工期限後15日までとする。
⑭ 立会検査	下記の項目については、監督員の立会検査を受け、検査立合記録書に監督員の了承を得るものとする。
⑮ 材料試験	●各種製品検査 ●各種仕上検査 ◎事中間検査及び竣工検査 本工事に使用する材料の内、係員より指示あるものに関してはその成績表を提出するか、又は監督員の承認する試験所で試験を行い、承認を受けなくてはならない。 尚試験に要する費用は全て請負者の負担とする。
⑯ 撤去工事	● 撤去及び取壊し工事は、事前に既存設備の概要を把握し、他に影響が及ばないよう充分検討した上で着工する。
⑰ 発生材の処理	● 引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上、設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の産業廃棄物適正処理の項及び関係法令等に従い適正に処理する。
⑱ 産業廃棄物の適正処理	● 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類の提出並び確認及び処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されている事を確認しなければならない。
⑲ 施工調査	●事前調査 (●本工事 ●別途) ●調査項目 (●既存資料調査 ●既設配線ルート) ●調査範囲 (●図示 ●工事範囲) ●調査方法 (●図示 ●目視)

- ⑳ その他
- 工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備に影響が有無を確認の事。
- 既設電気設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事。
- 別途機器への接続は、本工事とする。
- 電力、引込契約、引き込み位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。
- 建築基準法及び消防法で定められた電源回路には、赤色等を、銘記する。
- フラッシュプレートは砲金製で、水平高低調整リット付とする。
- 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は管径25を1本、5個以上の場合25を2本以上、天井裏まで立上げる。
- 配管工事のみの場合は、導入線（2.0mm²以上被覆鉄線）
- 配管の1区間が3.0m以上となる場合には、途中にフラッシュ又はジョイントフラッシュを設ける。
- 位置フラッシュは、原則としてフラットとする。
- 建築工事で、FP板（スライム等）打込みの箇所に取付ける位置フラッシュ等は、保温、結露防止処置を施す。（外壁部のみ）
- 配線器具等を安装しない位置フラッシュには、用途表示プレートを取付ける。
- 姿図の寸法、形状は参考とする。
- 防火区画の界壁、隔壁の貫通部には、耐火処置を施す。
- 接地極の付近には接地極埋設標を設け、種別、埋設位置、深さ、埋設年月日を明記する。
- 金属配管（E）及びフラッシュにはアースボンドをとる。
- 金属配管見え掛りは塗装仕上げとする。仕様は標準仕様書（電気工事編）[2.7.1]による。
- 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。
- 図記明記無き場合でも、天井張替え、壁張替え等に伴う既設機器の取外し一再取付は本工事とする。
- 撤去工事に於いて、図記明記無き場合でも調査の上、不要と思われる配線、配管（露出のみ）、機器については監督員と打合せの上、その指示に従う。（原則として撤去とする）
- 既設配線の切り離し施工等による停電工事に伴う諸調整を学校及び市担当者を行うこと。
- 防災無線の仮設電源への接続を行うこと。
- 適正な照度分布となるよう角度位置の調整を行い、取付位置をマーキングする

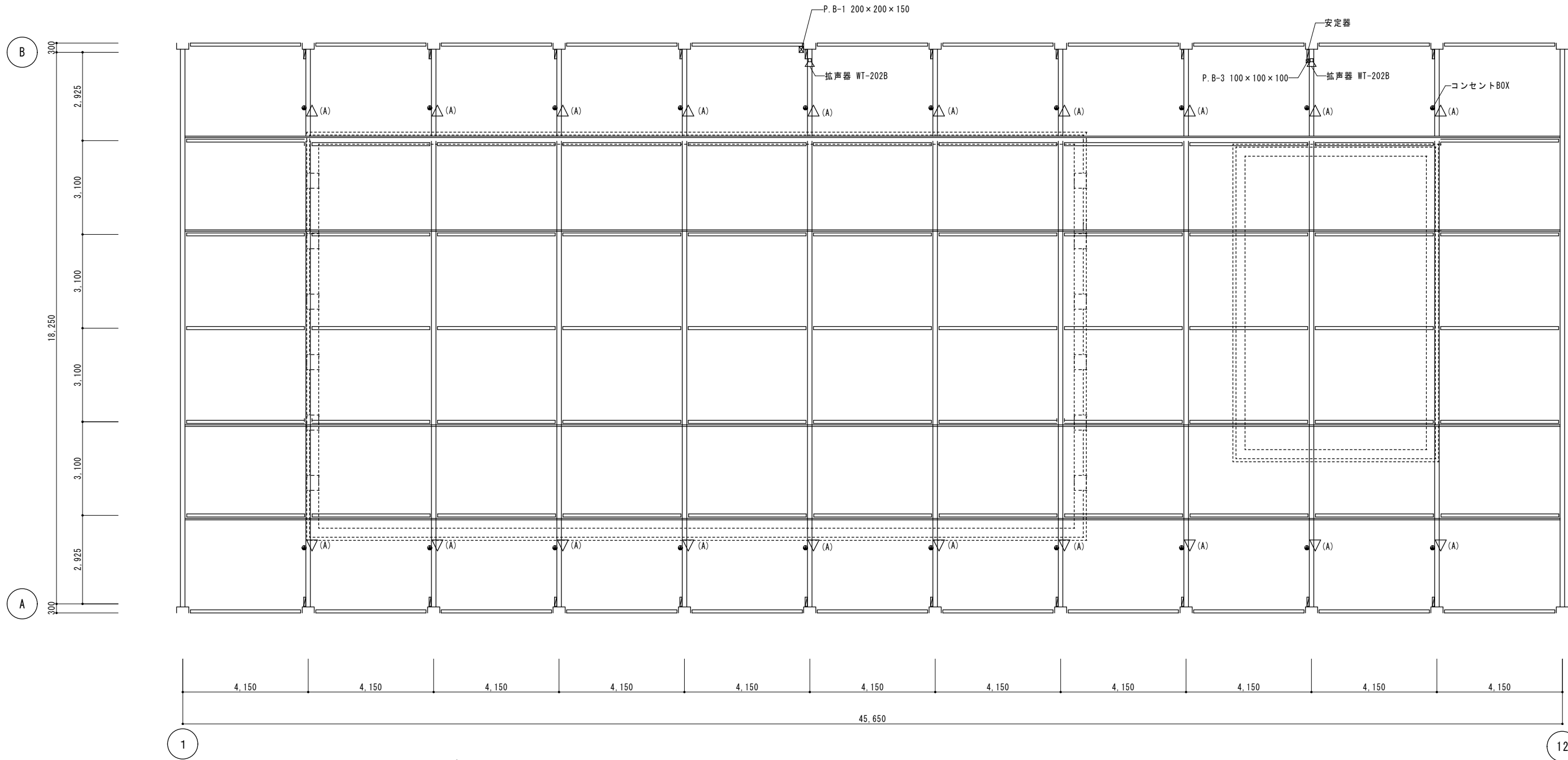
① 電気方式	相 線式 100V 単相2線式 100V 単相2線式 200V
② 配線方法	● 鋼製電線管 ● 合成樹脂可とう電線管（PF） ● 樹脂化粧管 ● ケーブル配線 ● 金属ダクト ● ケーブルラック ● 2種可とう電線管（F2）
③ 照明器具	(イ) LEDで、電源内蔵型非常用照明器具又はその他照明器具の重量が、6kg以上を超える器具は構造体より吊ボルト（6φ）以上に支持する。 (ロ) 特殊な照明器具は上記による他、監督員の指示による。 (ハ) 木、その他可燃物に取付ける場合には、遮熱を考慮する。
4 床付コンセント	● スライド式 ● OA用（ミニ）組
⑤ コンセント	● ハイドロスタット ● ワンタッチ飛び出し式 ● フリーフラッシュ用
⑥ 計画照度	コンセントは全て接地極付アースターミナル付を使用とする。
⑦ 照度測定	平均、最大、最小 Lx
⑧ 投光器運用方法等	監督員指示ヶ所照度測定
⑨ 取外しの範囲	当該B&Gプール内の照明器具は冬季間取外しプール運営前に取付となる為、取付場所は脚立足場で作業が可能な範囲にて取付とする。 工事完了検査後投光器は取外し施設管理者の指示する場所へ保管とする

工事名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事		
図 名	電気設備工事特記仕様書		
縮 尺	—	番 号	12 枚の内 02 号
設 計 年 月 日	令和 8年 7月		
設 計	有限 野中建築設計事務所	一級建築士195187	野 中 隆 平
高 山 市			



今回工事対象外部分
その他は脚立足場とする。

工事名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事		
図 名	国府 仮設計画図		
縮 尺	1/150	番 号	12 枚の内 03 号
設 計 年 月 日	令和 8年 7月		
設 計	有限 野中建築設計事務所 一級建築士195187 会社 野中 隆 平		
高 山 市			



既設照度

エリア	6コ-ス 25m×13m(水面)	幼児用プール 6m×10m(水面)
平均照度	207 lx	171 lx
最小照度	101 lx	104 lx
最大照度	374 lx	341 lx
最小/平均	0.490	0.606
最小/最大	0.271	0.304

改修前 照明配置図 1/100

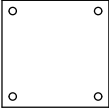
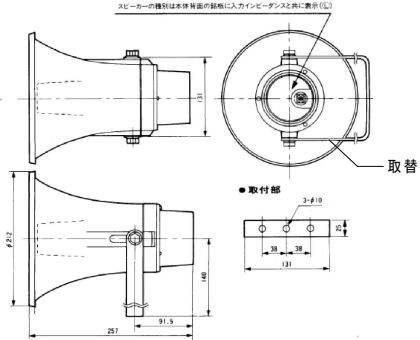
- ▽ 照明器具 (A) YK25134+YA58134
- ▣ P. B-1 200×200×150
- P. B-3 100×100×100
- ⌚ 安定器
- コンセントBOX
- △ 拡声器
- プール位置

工 事 名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事		
図 名	国府 改修前 照明配置図		
縮 尺	1/100	番 号	12 枚の内 04 号
設 計 年 月 日	令和 8年 7月		
設 計	有限 野中建築設計事務所 一級建築士195187 会 社 野 中 隆 平		
高 山 市			

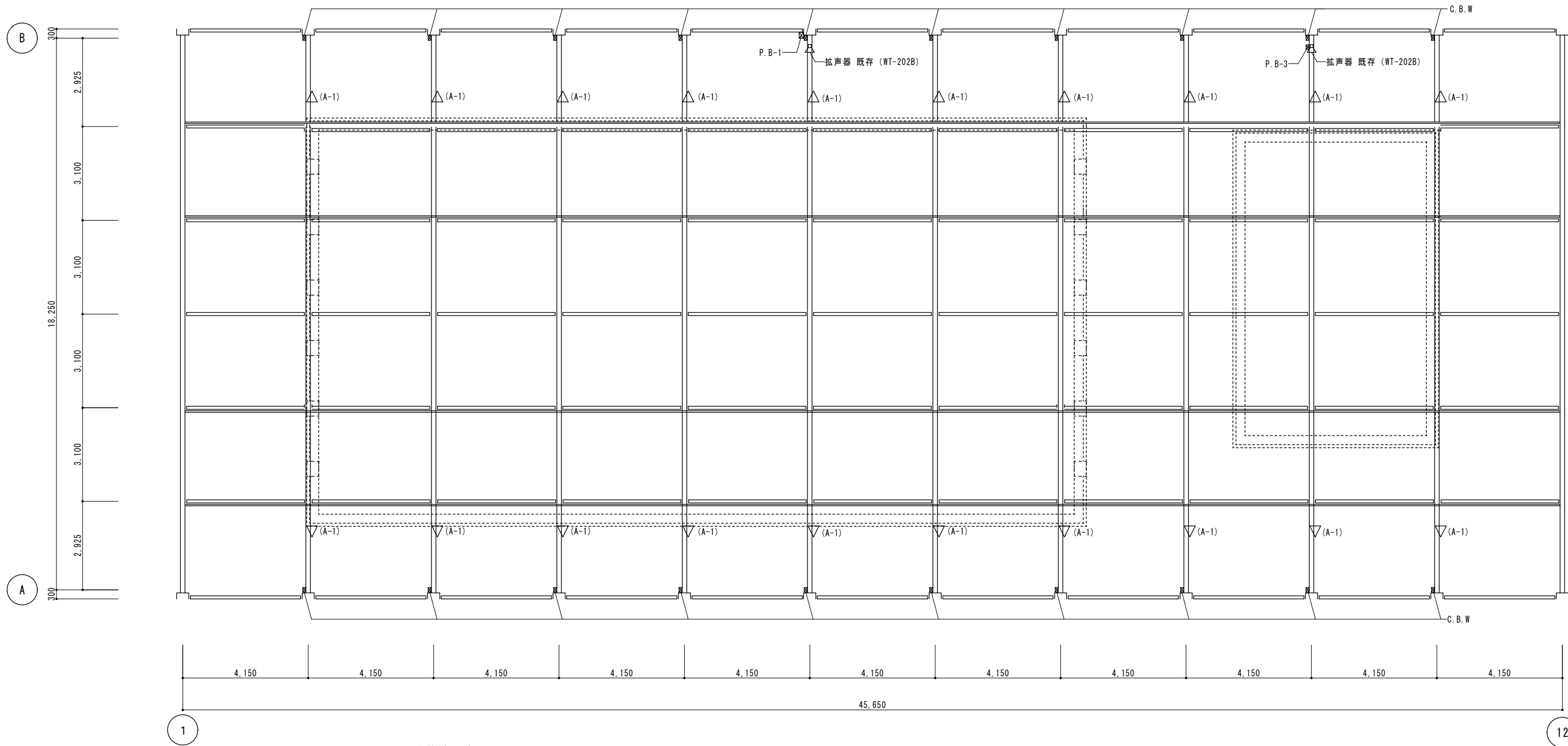
照明器具姿図

A					A				
YL型ガード					据置取付型				
				20台	水銀灯400W×1	HID			20個
水銀レフホルダ用・ホワイト					水銀レフホルダ YL型・リード線20cm付 防雨型				
									
品 番：YK25134					品 番：YA58134				
●撤去処分					●撤去処分				

関連器具

P. B-1 200×200×150 鋼板製		P. B-3 100×100×100		安定器		コンセントBOX		拡声器	
	1ヶ所		1ヶ所		20ヶ所		20ヶ所		2ヶ所
ブルボックス		ブルボックス						10Wトランペットスピーカー	
									
●撤去処分		●撤去処分		●撤去処分		●撤去処分		品 番：WT-202B ●取外し	

工 事 名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事				
図 名	国府 改修前 照明姿図				
縮 尺	—	番 号	12 枚の内	05 号	
設 計 年 月 日	令和 8年 7月				
設 計	有限 会社	野中建築設計事務所		一級建築士195187 野 中 隆 平	
高 山 市					



改修後照度

エリア	6コ-ス 25m×13m(水面)	幼児用プール 6m×10m(水面)
平均照度	393 lx	332 lx
最小照度	195 lx	200 lx
最大照度	672 lx	656 lx
最小/平均	0.497	0.601
最小/最大	0.291	0.304

改修後 照明配置図 1/100

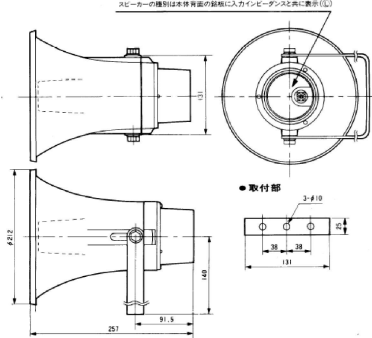
- ▽ (A-1) 照明器具 NYS36255K 拡散タイプ ケ-ブ' #2.5m
- (P.B-1) P.B 200×200×150 SUS WP
- (C.B.W) 防水形コンセントボックス
- (P.B-3) P.B 150×150×100 SUS WP
- △ 拡声器 (既存再生利用)
- プール位置

工 事 名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事			
図 名	国府 改修後 照明配置図			
縮 尺	1/100	番 号	12 枚の内	06 号
設 計 年 月 日	令和 8年 7月			
設 計	有限 会社	野中建築設計事務所		一級建築士195187 野 中 隆 平
高 山 市				

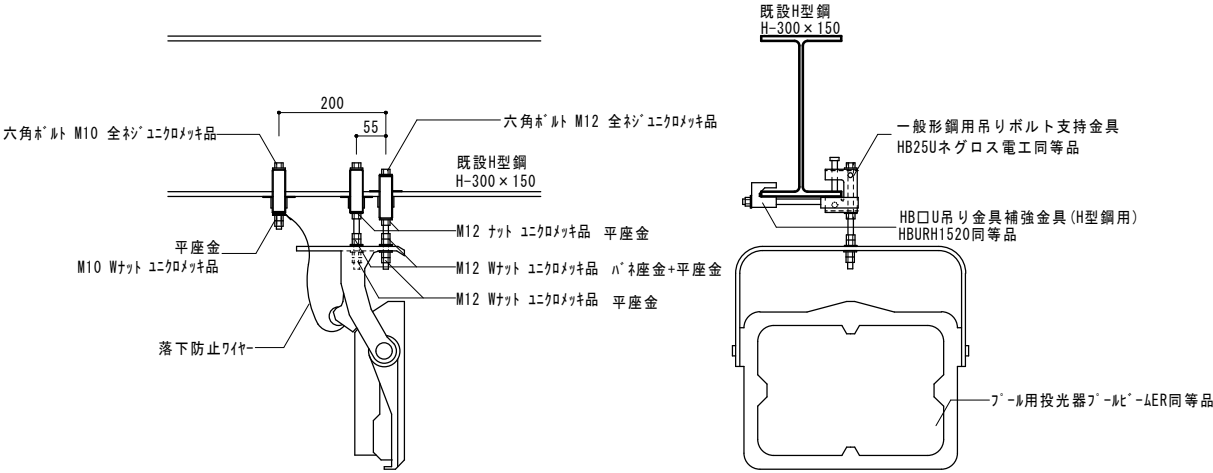
照明器具姿図

A-1	LED投光器 プールビームER	20台
ケーブル2.5m		
		
5000K、Ra70、光束維持時間60000時間（光束維持率85%） 防湿型・防噴流型・耐塵型 パネル付型 器具光束：25000 lm 電圧：100～242 V 消費電力：143 W 本体：アルミ（ケルヒライト）アーム：ステンレス（ケルヒライト） 前面パネル：ポリカーボネート（透明） 保護等級：IP65防湿 落下防止ワイヤー付 天井直付型・壁直付型・据置取付型、 参考品番：パナソニックNYS36255K LE9（拡散タイプ）		

関連器具

P. B-1	P. B 200×200×150 SUS-WP	C. B. W	防水形コンセントボックス
	1ヶ所	防水形マルチボックス	20ヶ所
プルボックス		 防水コンセント付	
P. B-3	P. B 150×150×100 SUS-WP	拡声器	
	1ヶ所		2ヶ所
プルボックス		10Wトランペットスピーカー	
		 品番：既存再利用（WT-202B） 部品交換 支持部金物流用加工	

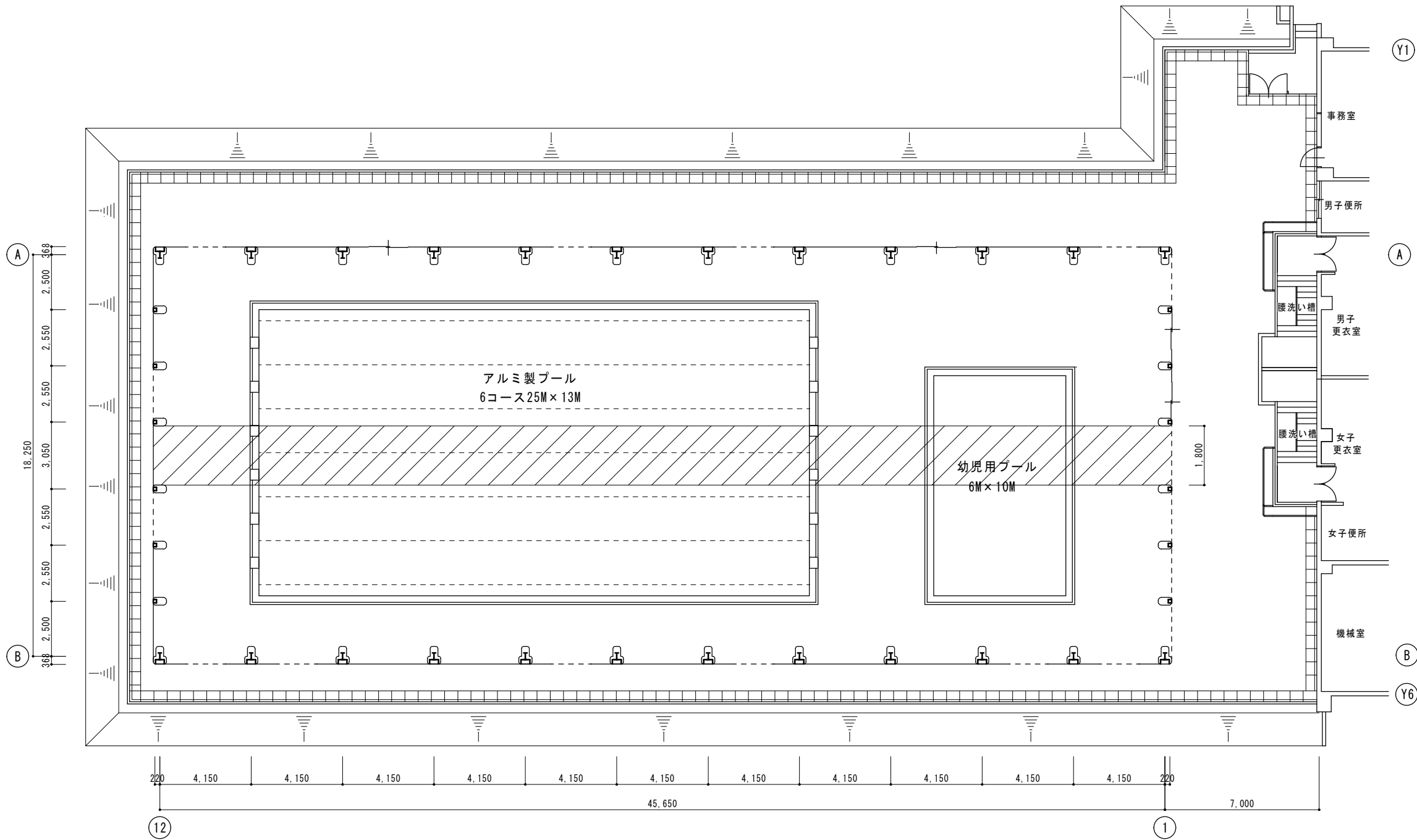
- 養生等
- 脚立足場養生 シート養生とする
- プール器具取付仕様
- 器具A器具固定金物は下記による
- 拡声器については清見B&Gプール既設金具取付金物を加工取付の事とする
- コンセントボックス仕様
- 防水形マルチボックス（MBW7000）+引掛形埋込コンセント（3120）+防水形プレート（W501-2）
- 照明器具ケーブル仕様
- 照明器具+ケーブル（VCT3.5mm 3C）+プラグ（3122N）+防水丸蓋（W501-3）
- ※記載品番はアメリカン電機㈱とし同等品とする



鉄骨用吊金物姿図 1/10

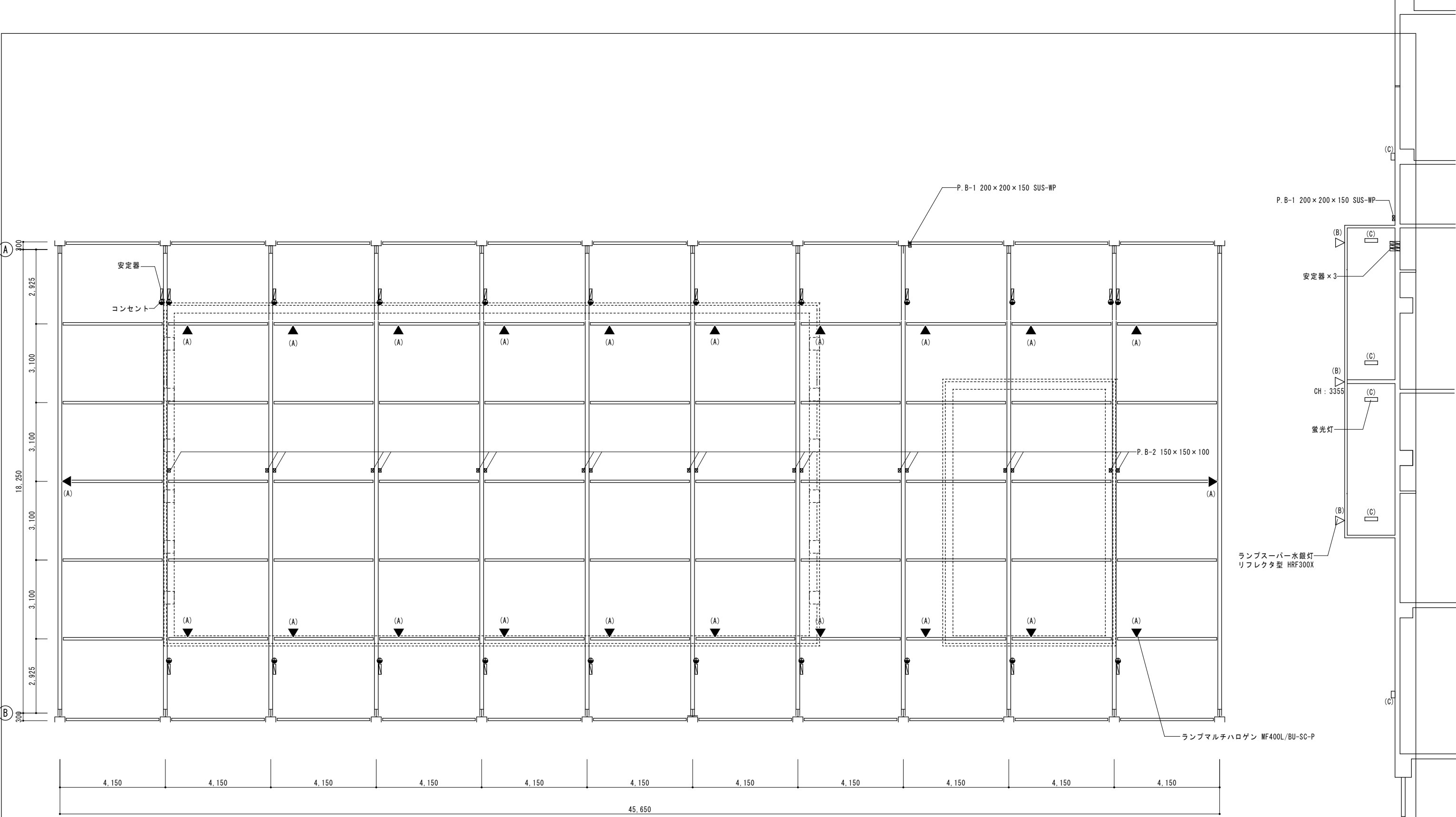
鉄骨用吊金物姿図 1/10

工事名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事		
図名	国府 改修後 照明姿図・金物姿図		
縮尺	1/10	番号	12 枚の内 07 号
設計年月日	令和 8年 7月		
設計	有限会社 野中建築設計事務所	一級建築士195187 野中隆平	
高山市			



ローリング足場 高さ5m以下
その他 脚立足場とする

工 事 名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事			
図 名	清見 仮設計計画図			
縮 尺	1/150	番 号	12 枚の内	08 号
設 計 年 月 日	令和 8年 7月			
設 計	有限 野中建築設計事務所 一級建築士195187 会社 野中 隆平			
高 山 市				



12

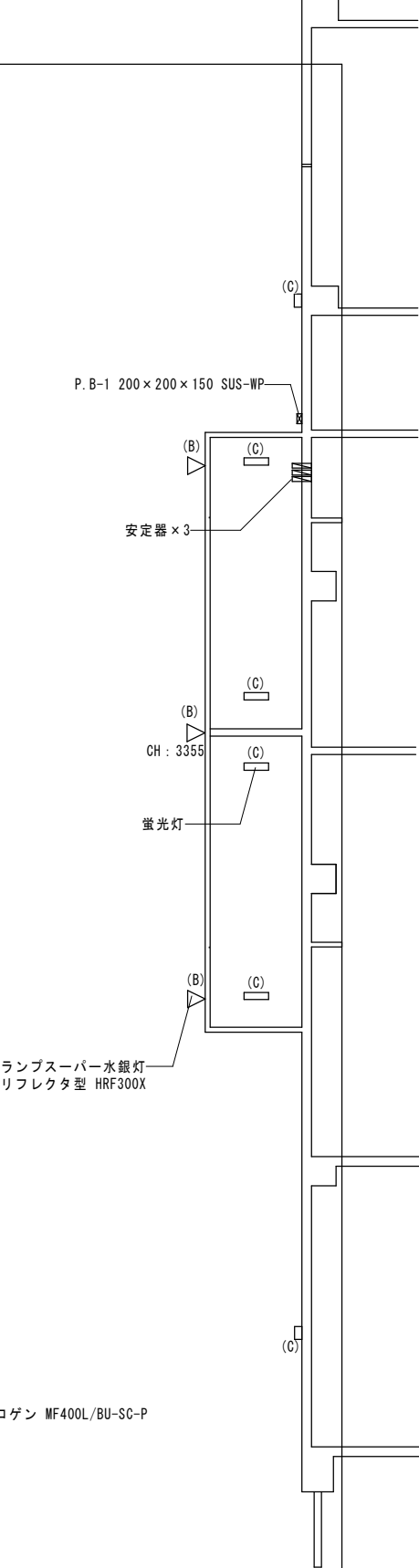
既設照度

エリア	6ｺｰｽ 25m×13m(水面)	幼児用ﾌｰﾙ 6m×10m(水面)
平均照度	332 lx	383 lx
最小照度	113 lx	128 lx
最大照度	434 lx	471 lx
最小/平均	0.340	0.333
最小/最大	0.261	0.271

改修前照明配置図 1/100

- ▼ 照明器具A ランプマルチハロゲン MF400L/BU-SC-P 品番：YA52294
- ▽ 照明器具B ランプスーパー水銀灯 リフレクタ型 HRF300X 品番：YA58064
- 照明器具C 下面解放
- ☒ P. B-1 200×200×150
- P. B-2 150×150×100
- ⏏ 安定器
- コンセントBOX
- プール位置

1

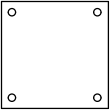


工 事 名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事			
図 名	清見 改修前 照明配置図			
縮 尺	1/100	番 号	12 枚の内	09 号
設 計 年 月 日	令和 8年 7月			
設 計	有限 会社	野中建築設計事務所		一級建築士195187 野 中 隆 平
高 山 市				

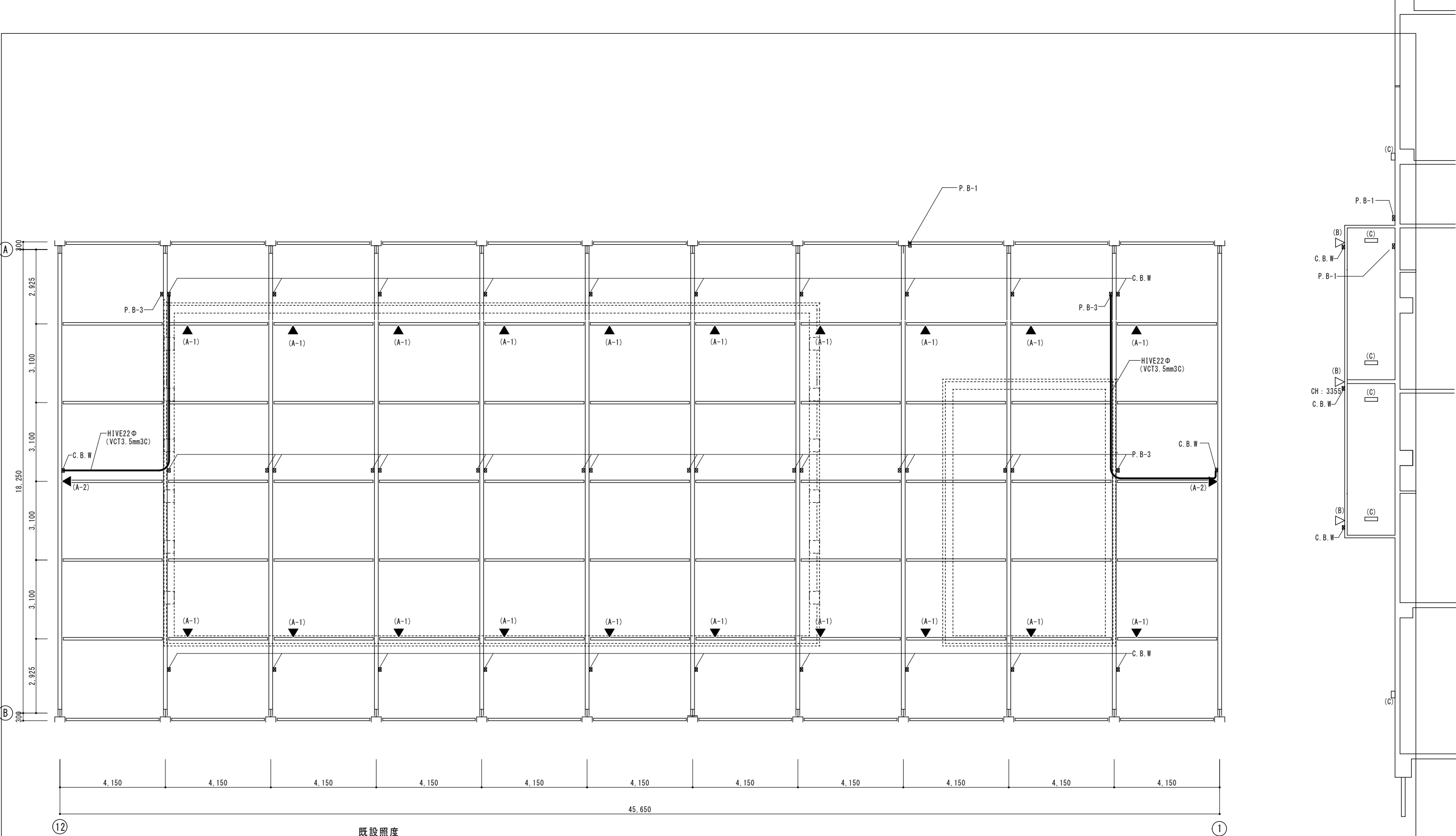
照明器具姿図

A	壁直付型				プール	B	据置取付型				腰洗い槽	C	下面解放型				腰洗い槽・事務室出入口
マルチハロゲン灯Lタイプ 400W×1		HID			22台	水銀灯400W×1		HID			3台	20W				6台	
サイドライティング器具 下面強化ガラス付 防湿型・防雨型 下面強化ガラス付						リフレクタ形ランプ用投光器 防雨型											
																	
品 番：YA52294 ●撤去処分						品 番：YA58064 ●撤去処分											

関連器具

P. B-1 200×200×150 銅板			P. B-2 150×150×100 銅板			安定器			コンセントBOX		
		2ヶ所			19ヶ所			25ヶ所			22ヶ所
ブルボックス			ブルボックス								
											
●撤去処分			●撤去処分			●撤去処分			●撤去処分		

工 事 名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事				
図 名	清見 改修前 照明姿図				
縮 尺	—	番 号	12 枚の内	10 号	
設 計 年 月 日	令和 8年 7月				
設 計	有限 会社	野中建築設計事務所		一級建築士195187 野 中 隆 平	
高 山 市					



既設照度

エリア	6コース 25m×13m(水面)	幼児用プール 6m×10m(水面)
平均照度	470 lx	465 lx
最小照度	353 lx	363 lx
最大照度	603 lx	600 lx
最小/平均	0.751	0.780
最小/最大	0.586	0.605

改修後照明配置図 1/100

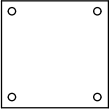
- ▼ 照明器具 (A) NYS36255KLE9 … (A-1) ケーブル 2.5m (A-2) ケーブル 1m
- ▽ 照明器具 (B) NYS36155KLE9
- 照明器具 (C) NNF21810CLE9
- P.B-1 P.B 200×200×150 SUS WP
- C.B.W 防水形コンセントボックス
- P.B-3 P.B 150×150×100 SUS WP
- プール位置

工 事 名	国府B&G・清見B&Gプール照明LED改修工事			
図 名	清見 改修後 照明配置図			
縮 尺	1/100	番 号	12 枚の内	11 号
設 計 年 月 日	令和 8年 7月			
設 計	有限 会社	野中建築設計事務所		一級建築士195187 野 中 隆 平
高 山 市				

照明器具姿図

A-1	LED投光器ブルービームER	20台
マルチハロゲン灯400形器具相当 ケーブル2.5m  LED（昼白色） 5000K、Ra70、光束維持時間60000時間（光束維持率85%） 前面パネル：ポリカーボネート（透明） 質量：5.6kg 器具光束：25000lm 電圧：100～242V 消費電力：143W 本体：アルミ（ケルホワイト）アーム：ステンレス（ケルホワイト） 前面パネル：ポリカーボネート（透明） 保護等級：IP65防湿 落下防止ワイヤー付 天井直付型・壁直付型・据置取付型、 参考品番：パナソニック NYS36255K LE9（拡散タイプ） マルチハロゲン灯400形器具相当 ケーブル1m  LED（昼白色） 5000K、Ra70、光束維持時間60000時間（光束維持率85%） 前面パネル：ポリカーボネート（透明） 質量：5.6kg 器具光束：25000lm 電圧：100～242V 消費電力：143W 本体：アルミ（ケルホワイト）アーム：ステンレス（ケルホワイト） 前面パネル：ポリカーボネート（透明） 保護等級：IP65防湿 落下防止ワイヤー付 天井直付型・壁直付型・据置取付型、 参考品番：パナソニック NYS36255K LE9（拡散タイプ）		
B	LED投光器ブルービームER	3台
マルチハロゲン灯250形器具相当 ケーブル1m  LED（昼白色） 5000K、Ra70、光束維持時間60000時間（光束維持率85%） 前面パネル：ポリカーボネート（透明） 質量：5.2kg 器具光束：17000lm 電圧：100～242V 消費電力：97.6W 本体：アルミ（ケルホワイト）アーム：ステンレス（ケルホワイト） 前面パネル：ポリカーボネート（透明） 保護等級：IP65防湿 落下防止ワイヤー付 天井直付型・壁直付型・据置取付型、 参考品番：パナソニック NYS36155K LE9（拡散タイプ）  LED内蔵、電源ユニット内蔵 5000K、Ra83、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 防湿型・防雨型 器具光束1480lm、消費電力14.9W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23 参考品番：パナソニック NFW21810CLE9		
C	LEDウォールライト 20形	6台

関連器具

P. B-1	P. B 200×200×150 SUS-WP	P. B-3	P. B 150×150×100 SUS-WP	C. B. W	防水形コンセントボックス
3ヶ所		20ヶ所		25ヶ所	
ブルボックス 		ブルボックス 			

○養生

ローリング足場養生 ローリング足場移動部分に針葉樹合板厚12敷き込み上シート養生とする

脚立足場養生 シート養生とする

○ブール器具取付仕様

器具A-1、2器具金物は下記による

器具Bについては後施工アンカー（金属拡張アンカー）取付とし1機種につきM12×2本 M10×1本とする

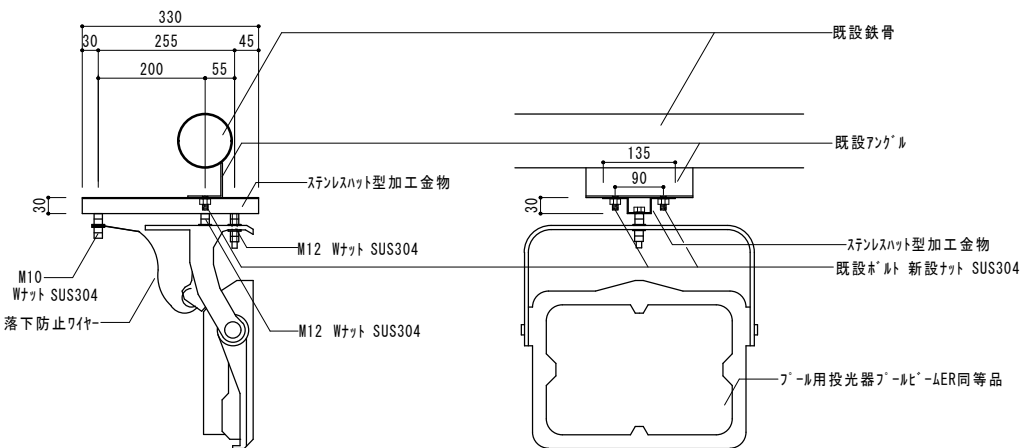
○コンセントボックス仕様

防水形マルチボックス（MBW7000）+引掛形込コンセント（3120）+防水形プレート（W501-2）

照明器具ケーブル仕様

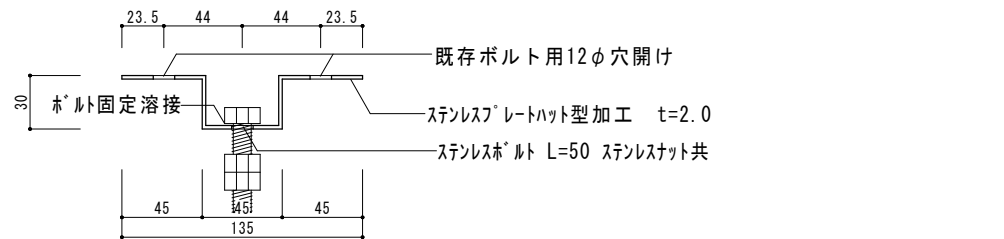
照明器具+ケーブル（VCT3.5mm 3C）+プラグ（3122N）+防水丸蓋（W501-3）

※記載品番はアメリカン電機株式会社と同品等とする

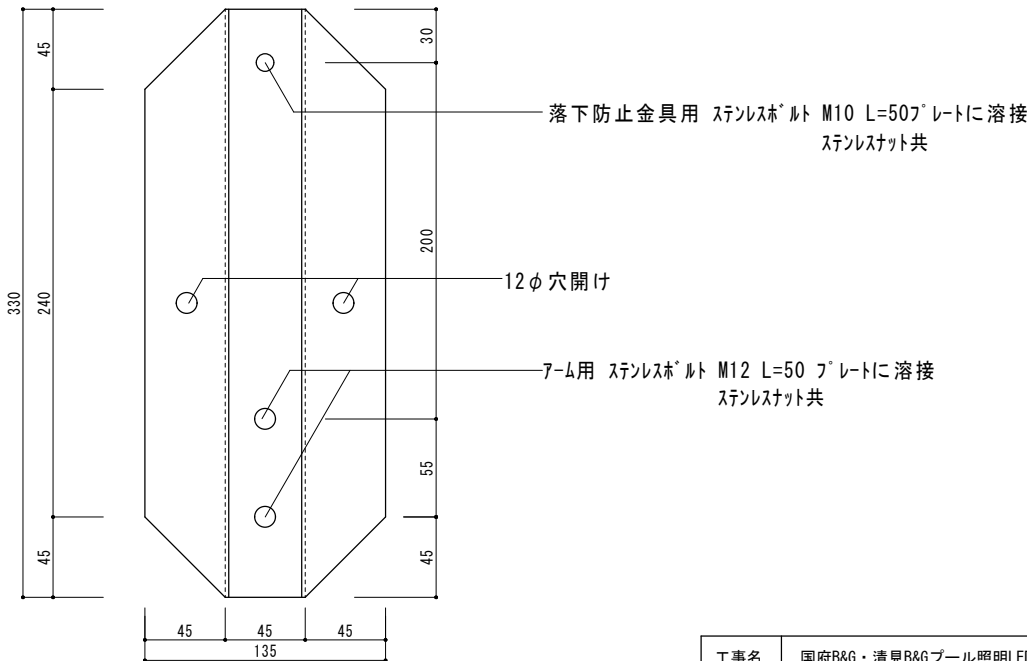


鉄骨用吊金物姿図 1/10

鉄骨用吊金物姿図 1/10



ステンレスハット型加工断面図 1/3



ステンレスハット型加工平面図 1/3

SUS304 仕上無し

数量 22セット

工事名	国府B&G・清見B&Gブルー照明LED改修工事			
図 名	清見 改修後 照明姿図・金物姿図・加工平面図			
縮 尺	1/3 1/10	番 号	12 枚の内 12 号	
設 計 年 月 日	令和 8年 7月			
設 計	有限 会社	野中建築設計事務所		一級建築士195187 野 中 隆 平

高 山 市